

平成26年度 決算見込み

平成26年度の決算見込みがまとまりましたので、お知らせします。
問い合わせは、財政課財政係（☎内線527）へ。

平成26年度に実施した主な事業



住宅取得応援事業で住宅取得費用に補助

人口減少対策事業

- 特色ある教育の推進事業
482万円
- 住宅取得応援事業
1億4,217万円
- 保育園、幼稚園の第3子以降
無料化 8,687万円

元気で活力ある まちづくり

- 織都桐生千三百年事業
150万円
- 桐生武井西工業団地整備事業
1,732万円
- 創業促進・支援事業
2,319万円



創業促進・支援事業でまちなかにおいて創業支援

安心して暮らせる まちづくり

- 桐生球場施設改修事業
6億3,739万円
- おりひめバス天然ガス車両
導入事業 2,818万円
- 自主防災事業
826万円



桐生球場施設改修事業でナイター設備を設置

子供のための 未来づくり

- 小学校施設改修事業
2億8,594万円
- 商業高校海外研修
97万円
- 私立保育所施設改修補助
821万円



商業高校海外研修で台湾を訪問

一般会計

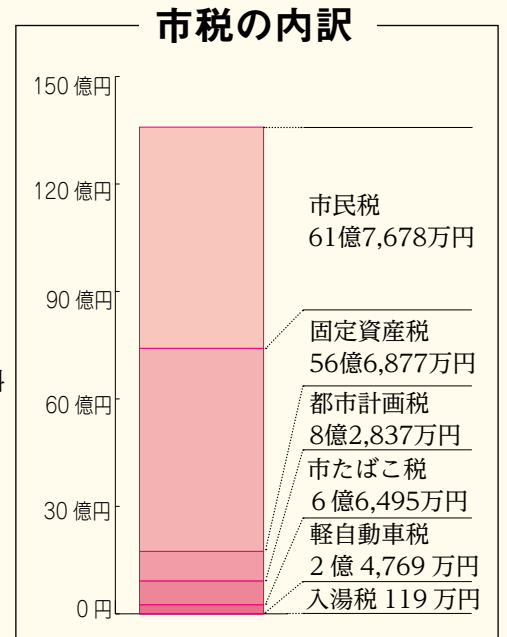
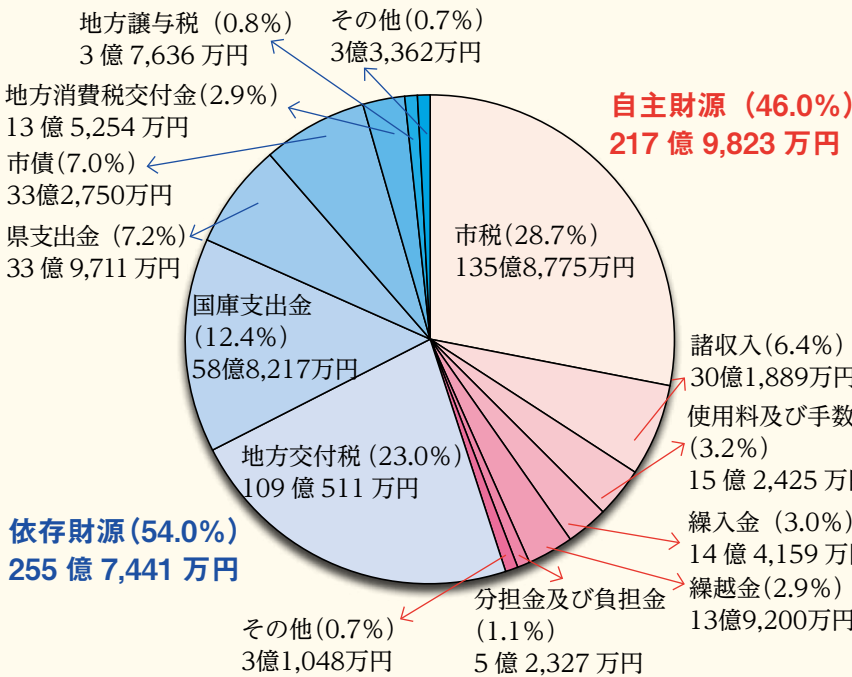
一般会計の決算見込みは、歳入が473億7,264万円、歳出が454億9,134万円で、歳入から歳出を引いた差額の18億8,130万円は、平成27年度への繰越金や基金への積み立てとなります。

歳入

473億7,264万円

歳入は、市税など市独自の収入財源である「自主財源」と、地方交付税や国・県支出金などの「依存財源」に分けられます。

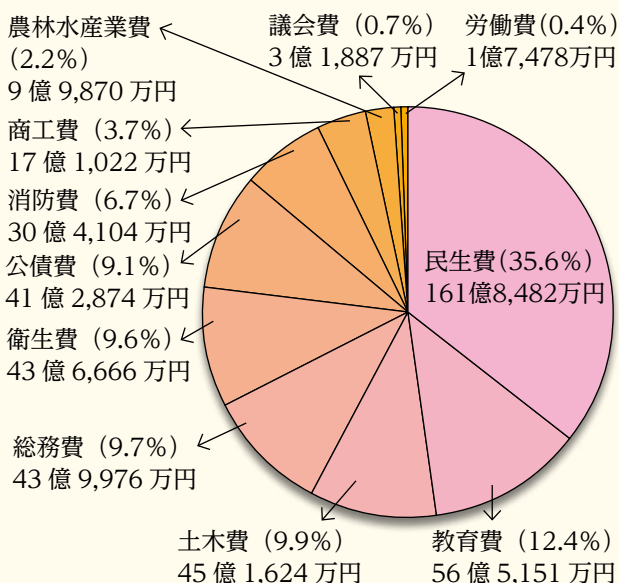
円グラフのとおり歳入全体の54.0パーセントが依存財源となっています。



歳出 454億9,134万円

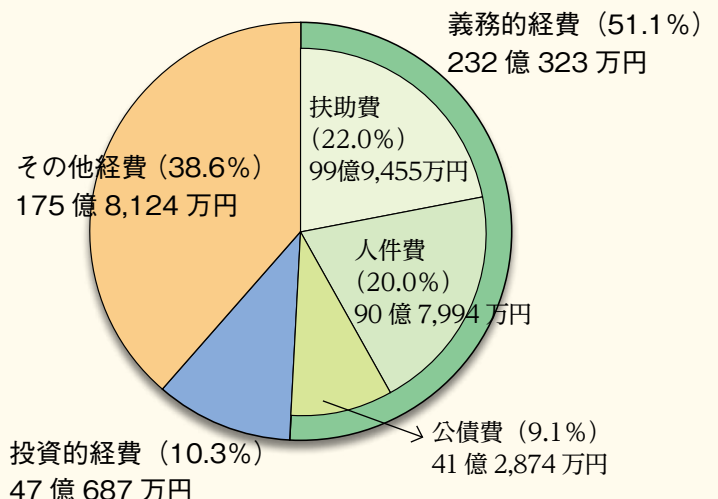
目的別

円グラフのとおり福祉関係に使われている民生費が歳出全体の35.6パーセントを占め、最も多くなっています。



性質別

円グラフのとおり義務的経費は、歳出全体の51.1パーセントとなっています。また、公共施設の建設事業などに要する投資的経費は歳出全体の10.3パーセントとなっています。



※1万円未満は、四捨五入。()内は、構成比。各グラフ・表中の数字は、端数処理してあります。

特別会計

	歳入 (内、一般会計繰入額)	歳出
学校給食共同調理場事業	7億9,405万円 (3億3,633万円)	7億9,405万円
国民健康保険事業	148億8,632万円 (11億7,023万円)	142億6,556万円
下水道事業	37億5,892万円 (16億7,077万円)	37億5,880万円
簡易水道事業	1億5,960万円 (1,343万円)	1億5,734万円
介護保険事業	122億9,884万円 (16億9,872万円)	121億6,136万円
農業集落排水事業	2億5,231万円 (2億967万円)	2億5,231万円
住宅新築資金等貸付事業	528万円 (-)	519万円
新里温水プール事業	1,789万円 (-)	1,748万円
宅地造成事業	325万円 (-)	0円
発電事業	3億5,484万円 (-)	3億3,668万円
後期高齢者医療事業	13億9,560万円 (4億1,535万円)	13億9,221万円
合計	339億2,690万円 (55億1,450万円)	331億4,098万円

※1万円未満は、四捨五入

水道事業会計

平成26年度における水道事業収益は21億4,765万円、一方、水道事業費用は、18億3,016万円で、差引純利益は3億1,749万円となり、前年度と比較して12.8パーセント減少の見込みです。

なお、この純利益は、浄水場をはじめとする老朽化した各施設の整備や水道管の交換のほか、借入金の返済などに充てていく予定です。

収益的経費

収益	21億4,765万円
費用	18億3,016万円

建設改良事業

財源	6億2,950万円
支出	6億2,950万円

財産の状況

資産		負債及び資本	
固定資産	178億8,072万円	自己資金ほか	150億8,175万円
		企業債	43億971万円
流動資産	60億1,137万円	引当金ほか	45億63万円
計	238億9,209万円	計	238億9,209万円

※1万円未満は、四捨五入

市有財産の状況

平成27年3月31日現在
※1万円未満は、四捨五入

土地	10,790,225㎡
建物	748,126㎡
有価証券	4,794万円
基金	121億2,454万円
(基金の内訳)	
財政調整基金	62億5,179万円
その他の基金	58億7,275万円

市債残高の状況

平成27年3月31日現在
※1万円未満は、四捨五入

下水道債	170億1,425万円
臨時財政対策債	189億5,583万円
土木債	66億2,752万円
教育債	49億1,537万円
その他	112億5,314万円

市民1人・1世帯当たりの金額 (一般会計)

使ったお金

市民1人当たり	38万5,808円
1世帯当たり	91万2,894円

納めたお金 (市税、使用料及び手数料)

市民1人当たり	12万8,163円
1世帯当たり	30万3,259円

※3月31日の人口(117,912人)と世帯数(49,832世帯)により算出

用語解説

市税…市民の皆さんから納めていただいた市民税や固定資産税、軽自動車税などの税金

地方交付税…地方自治体が一定水準の行政サービスを提供することができるよう国から交付されたお金

国庫支出金…市が行う特定の事業に対して国から支出されたお金

県支出金…市が行う特定の事業に対して県から支出されたお金

繰入金…基金(市の貯金)や特別会計から一般会計に繰り入れられたお金

諸収入…他市から受けたごみ処理や消防などの業務による収入や貸付金の元金利息収入など

市債…国や銀行などから借り入れたお金

総務費…市役所や財産の維持管理、戸籍の管理や税金の徴収などの費用

民生費…福祉の充実や子育て支援などの費用

衛生費…環境保全や疾病予防、健康増進などの費用

土木費…道路や河川、公園などの整備・維持管理費用

教育費…学校教育、生涯学習の充実、文化スポーツ振興などの費用

公債費…これまでに借り入れた市債を返済する費用

扶助費…児童、高齢者、障害者、生活困窮者などの支援に要した経費

義務的経費…支出が義務付けられていて、任意に削減できない経費

投資的経費…社会資本の整備に使われた経費